

2023年3月29日

構想から発売まで3年以上！コロナ禍での商品開発

「びっくりドリンクバー」新発売

入口一つに出口が二つ、ちょっと不思議な玩具菓子

「さあ、花火をしよう。」株式会社若松屋（本社：愛知県西尾市、代表取締役：佐野明正）は、2023年4月にHappy yum-yumシリーズ（*）の新商品として、「びっくりドリンクバー」を発売します。

* Happy yum-yum とは、『おもしろい』をコンセプトに、子供が遊んでいる姿、喜んでいる姿を想って作られた若松屋の玩具菓子シリーズの総称となります。



「びっくりドリンクバー」とは、ドリンクサーバーをイメージした本体とコップ、お菓子（チョコ、ミンツ）がセットされた商品です。

本体上部に付属のコップ一杯分のお菓子をセットします。そのままコップでボタンを押すと、内部機構によりチョコとミンツが自動的に振り分けられ左のボタンからはミンツが、右のボタンからはチョコが出てきます。

一つの入口で出口が二つのちょっと不思議な玩具菓子です。ファミリーレストラン気分でごっこ遊びを楽しもう！

【コロナ禍での商品開発】

通常の商品開発は、日本で企画立案から中国の提携工場で金型作成し何回か試作品で修正をしながら最終的に中国工場での調整を経て商品化していました。

この商品は2019年10月に商品開発がスタートしました。通常の開発スケジュールであれば、2020年内の発売を目途に開発が進んでいく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によって中国への出張が不可能となり、通常行っていた工場で調整が出来ないために商品開発に大幅な遅れが発生してしまいました。対面出来ない代わりにサンプルのやり取りや電話等での指示によるトライアンドエラーを繰り返し、やっと発売に辿り着いたときには3年以上の年月がたってしまいました。

【商品概要】

商品名：びっくりドリンクバー

価格：オープン価格

ディスプレイボックス入り

販売店について：全国の小売店（お菓子売り場）



【若松屋について】

当社の主力商品である「花火」は、多くの人に感動と喜びを提供できる商品であり、「玩具」は子どもたちの豊かな感性を育む商品と考えています。

今後も昭和12年の創業からの信念である「お客様第一」に基づき、「花火」「玩具」などの商品を通じて社会貢献をすることを目指していきます。

【会社概要】

会社名：株式会社若松屋
代表：代表取締役 佐野 明正
本社：愛知県西尾市下羽角町岩谷56-1
東京支店：東京都台東区柳橋1-5-6
貝吹工場：愛知県西尾市貝吹町大牛切65
ホームページ：<https://www.wakamatsuya.tv/>
設立：昭和39年（創業昭和12年）
資本金：3000万円
年商：35億円
従業員数：55名
事業内容：玩具花火、煙火、玩具、雑貨、菓子の製造・卸売

〈お問合せ先〉

株式会社若松屋 広報担当：竹内

TEL：(03)5825-1331 FAX：(03)5825-1338

担当者携帯：080-3533-4804 mail：takeuchi34@king.odn.ne.jp